

## 2年 道徳学習指導案

平成28年10月18日(火)

指 導 者

- 1 主題名 内容項目名 相互理解，寛容 (内容項目番号 B-9)  
(資料名「言葉の向こうに」 出典「私たちの道徳」)

### 2 主題設定の理由

#### (1) 価値について

内容項目9は「自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心を持って謙虚に他に学び、自らを高めていくこと」をねらいとする。

人は様々な事柄について自分の考えや意見を持ち、それを相手に伝えている。その考えや意見は自分の見方や考え方を反映しており、相手とは異なったものになることがある。それぞれの立場の違いや個性的な表現を大切にしていこうとすることで、自分の見方や考え方も広がり、大きな視点から物事を見る目が養われる。相手を受け入れる寛容の気持ちが持てれば、相手をより深く理解し、強いつながりを結ぶことができる。常に相手のよさに着目し、自分にはないよさを見出して謙虚に学ぶことは、自らの生き方をよりよくすることにつながる。

中学生の時期は、生活範囲が広がり、人間関係にも広がりが見られる。部活動でのつながりができたり、先輩や様々な立場の人との交流も増えてくる。様々な差異を持つ人々の考えや意見を理解して自分の考えを広げ、大きく成長できる機会である。しかし、自分の考えにこだわったり、相手との意見の違いから摩擦が生じ、人間関係が崩れて孤立したり、悩んだりすることも出てくる。仲間関係を維持するために過剰に同調したり、仲間内でのいさかいに適切に対処できない場合も見られる。

本学区は1小1中であるため、幼少期からともに過ごしており、お互いの気心を知った仲である。お互いの人間関係が固定化しており、立場の弱いものは常に弱い立場で行動し、自分の考えや意見を表明できずに過ぎてしまう。また、立場の強いものの勝手な言動が通りやすいが、あまり問題とならずに過ぎてしまうようなことが見られる。

この時期は体が大きく成長し、心身ともに変化してくる時期である。学習や部活動でもそれまでと違った成果が見られる。お互いの関係を固定的なものにとらえず、それぞれの立場や個性を見つめさせたい。多様な見方や考え方に触れて、相手の考えや意見を見つめ、そのよさを認め学んでいくことは、この多感な時期に生徒が一回り大きく成長することにつながる。

本資料で扱うインターネットは中学生も使用する機会が増えている。情報収集や情報発信ができるインターネットは魅力的であるが、使用に関わるモラルが備わっていないと様々なトラブルに巻き込まれる可能性が大きくなる。日常の生活を振り返りながら、ネット社会において相手の立場を尊重して、人間関係を高め、自らを成長させることの大切さを理解させることが必要である。

以上のことから、相互理解と寛容について考えることをねらって、本主題を設定した。

(2) 生徒の実態について (22人)

中学生らしい落ち着いた生活をしており、中学校での人間関係も適切な指導を繰り返す中で安定してきている。授業での約束事も一つ一つできるようになっている。丁寧に字を書いて文章をまとめたり、自分の考えを発表したりする活動はまだ十分にできていないので、一人一人の進み具合を確認しながら個別に指導していく必要がある。

スマートフォンなどの携帯端末の利用に関わる事前調査の結果は以下の通りである。

① スマホなどの携帯端末を持っていますか。 はい 82.0%, いいえ 18.0%

② スマホなどの携帯端末利用の約束を保護者としてしていますか。  
はい 72.7%, いいえ 27.3%

③ スマホなどの携帯端末の利用で困ったことはありますか。  
はい 13.7%, いいえ 77.3%

・困ったこと：LINE で問題、友達とのトラブル等

④ スマホやゲームに夢中になって時間のけじめがつかないことがありますか。  
はい 40.9%, いいえ 39.1%

・けじめがつけられないときの気持ち：だめな気持ち (2人), ずっとやりたい (2人), 早く終わらせねば, 疲れる等

⑤ スマホやゲームに使う時間は1日何時間くらいですか。  
5時間以上 22.7%, 4時間以上 9.1%, 3時間以上 22.7%  
2時間以上 27.3%, 1時間以上 4.5%, 1時間未満 4.5%

⑥ SNS (ソーシャルネットワーキングサービス) を開くと友人Aの悪口が書かれていました。そこで、あなたはAをかばう書き込みをしました。するとAと同じように、あなたを非難する言葉がネット上に書かれました。

・あなたはどうしますか。

相談する (5人), 無視する (5人), 最悪だと思う (2人)

わからない (2人), 非難し返す (2人) 等

・それはなぜですか。あなたを非難する言葉を見た時の気持ちを想像して教えてください。

わからない (6人), 嫌な気持ちになるから (5人), 悲しいから (2人), かわいそうだから (2人), 面と向かってこないで勇気がないから (2人), 勝手にすればいいから (2人) 等

⑦ インターネットではコミュニケーションはどのようにとったらよいか、あなたの考えを書いてください。

わからない (5人), 考えて使う (4人), 書いた文を確認する (2人)

嫌がることは書かない (2人), 楽しく話す (2人) 等

携帯端末の所持率が8割を超えており、携帯端末の約束を保護者としていない生徒が4分の1を超えている。携帯端末への書き込みでトラブルになった経験がある生徒も見られる。スマホ等に夢中になって時間のけじめがつかないと感じている生徒が4割おり、2時間以上使用する生徒が8割を占めている。SNSに自分を非難する書き込みがされた時に、親や友達に相談する生徒(5人)がいるが、無視したり、何もしない、逆に非難し返す(2人)生徒も見られる。インターネットでのコミュニケーションについてはわからない(5人)と答えた生徒が最も多かった。考えて使う、書いた文を確認する、嫌がることは書かない(各2人)と答えた生徒もいる。

携帯端末の所持率が高いものの、携帯端末についての約束が不十分でけじめのない生活に陥っている生徒が多数見られるのが現状である。インターネット上でのコミュニケーションのとり方も十分に考えられていない中で使用されており、トラブルを抱えた経験のある生徒もいる。

以上のような実態から、望ましい携帯端末の使い方を指導していくことが必要である。インターネットを通じて自分の考えや意見を伝えることは今後益々盛んになってくるものと考えられる。自分の考えを相手に正しく伝えるために相手の立場に立って、幅広い視点からお互いの考えを尊重することがこれまで以上に求められる。携帯端末を持ってはいるものの、適切な使用方法についての理解が及んでいない生徒に本時を通して、相手の立場を大切にされた寛容の心を持って謙虚な姿勢で学ぶことを指導することは時機を得たものといえる。

### (3) 資料について

加奈子はインターネットでヨーロッパのサッカーチームのA選手のファンとサイトを通じて交流している。決勝の試合後の書き込みにA選手を批判するひどい言葉を見つけ、夢中で反論した言葉がエスカレートしてしまう。そのサイト上で、「A選手の悪口を書く人もマナー違反だけど、いちいち反応して、ひどい言葉を向けている人、ファンとして恥ずかしいです。」と注意を受ける。加奈子は自分がインターネット上で非難されることに納得いかなかった。画面を更新すると、「言葉の向こうにいる人々の顔を思い浮かべてみて。」という書き込みを読む。加奈子は字面にとらわれて相手の立場に立って考えるという一番大事なことを忘れていたことに気づくという内容である。

ネット社会では匿名性が高いため、無責任な言動が見られ、問題を引き起こすことがある。顔と顔を向き合せて話している時ならば、相手の表情を推し量って相手の立場を考えて人間関係を築くことができる。インターネット上では相手の存在や思いを考えずに、厳しい言葉や面と向かっては言えないことを簡単に書き込んでしまい、トラブルになりやすい。そこで、自分と同じような気持ちを持っている相手への思いを常に忘れないことが大切である。自分と違った意見にも耳を傾け、広い心で異なった意見を受け入れ、他者の考えを推し量ってより大きな視点から自分を高めることができるように指導していきたい。

### 3 ねらい

加奈子の言動を通して、相手の立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心を持って謙虚に他に学び、自らを高めていく態度を育てる。

### 4 展開

学習活動と主たる発問	予想される生徒の反応	時配	支援の手立て・留意点
1 資料に関わる内容を話し合い、資料に入る雰囲気をつくる。 ① インターネットを使った経験について話し合う。	・インターネットを使ってよいことや危険性について話し合う。	3	・スマホやゲームの使い方について振り返る。 ・ひどい書き込みが簡

<p>② インターネットでひどい書き込みをするとどうなるか話し合う。</p> <p>2 資料『言葉の向こうに』を読み進めながら、加奈子さんの気持ちを話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットいじめやネットにおける炎上などの話題を取り上げる。</li> </ul>		<p>単にできることなどを扱い、資料に入る雰囲気をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料『言葉の向こうに』を読み進めながら加奈子さんの気持ちを考えることを説明する。</li> </ul>
<p>インターネットで書き込みをした加奈子さんの気持ちを考えること通して，SNSでコミュニケーションをとるにはどのようなことが必要かを考えよう。</p>			
<p>① 応援しているヨーロッパサッカーチームがA選手の活躍で優勝したことを喜ぶ書き込みに参加している加奈子さんはどんな気持ちだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じように興奮することがありますか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すごくうれしい気持ち</li> <li>・同じ感動を味わえる人がネットにいてうれしい。</li> <li>・ファンがひとつになって盛り上がっていて興奮する。</li> <li>・とにかく夢中になって時を忘れてる。</li> </ul>	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜中にサイトを開き，興奮している様子をつかめるようにする。</li> <li>・夢中になっている加奈子のファン心理に注目する。</li> <li>・同じような経験を想起させる。</li> </ul>
<p>② 必死で反論する加奈子の言葉は，なぜエスカレートするのだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A選手への悪口が許せないから。</li> <li>・ファンサイトに悪口を書くなんて許せないという思いから。</li> <li>・次々と非難する反応があり，絶対に負けられない気持ちだから</li> <li>・相手の言葉がひどくなるのに合わせて，夢中で書き込むから。</li> </ul>	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・①心無い書き込みへの怒り，②書き込みと異なる自分の思い，③相手の強くなる反応へのより刺激の強い反応，④引くに引けない非難の応酬がネットの中で繰り返されていることを整理する。</li> </ul>
<p>③ 「ファンとして恥ずかしいです。中傷を無視できない人はここに来ないで。」と非難された加奈子はどんな気持ちだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A選手への批判をサイトで増やしたくないのに。</li> <li>・A選手をかばっているのがわからないなんて許せない。</li> <li>・同じファンが自分を非難するなんて信じられない。</li> <li>・悪口を書いている人が悪いのに自分が非難されるのは納得がいかない。</li> <li>・自分は悪くない。悪口を言う相手が悪い。</li> </ul>	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファンとして純粋な気持ちで反論している気持ちをつかませる。</li> <li>・自分に非はないという気持ちでいる加奈子の心情を理解できるようにする。</li> </ul>

<p>④ 「匿名だからこそ、あなたが書いた言葉の向こうにいる人々の顔を思い浮かべてみて。」という書き込みを見て、「すごいこと発見しちゃった。」と明るい声で母に言う加奈子は何を考えているのだろうか。プリントに書きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の言うこともわかるが、自分の気持ちが理解されず寂しい。</li> <li>・冷静になり、読む人の立場になって考えなければと思った。</li> <li>・自分の意見を伝えるために相手の顔を想像しないで勝手なことを書いていたと反省した。</li> <li>・自分が言われて嫌なことを相手の挑発に乗って書き込んで失敗したと思った。</li> <li>・この失敗はほかの人もしていて悩んでいることを知って、ネットでの書き込みについて考えさせられた。</li> <li>・相手の考えを受け止めてコミュニケーションをとることの大切さがわかり、気持ちが落ち着いた。</li> </ul>	<p>1 0</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリント</li> <li>・ネットの書き込みをしている時に①冷静さを欠いていたこと、②相手や読む人の立場を考えていなかったこと、③自分の考えばかりを優先していたこと、④ネットの書き込みで他の人も悩んでいることに気づき、自分の考えを相手に伝えるうえでは、相手を尊重し、寛容の心を持ち、謙虚に考えていくことの大切さに気づいたことをまとめる。</li> </ul>
<p>3 『言葉の向こうに』を学習して、インターネットで自分の気持ちを伝える時にはどのようなことに心がけたらよいかを考え、プリントにまとめましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のことばかり考えないで、様々な立場の人が色々な考えを持っていることを考えて自分の意見を伝えるようにする。</li> <li>・相手の意見を大切に、反対するばかりではなく広い気持ちを持って謙虚に他の人と接するようにする。</li> <li>・字面にとらわれず、相手の気持ちを考え、色々なものの考え方を認めるようなコミュニケーションを図りたい。</li> </ul>	<p>1 0</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリント</li> <li>◇自分とは違う立場の人のものの見方や考え方を理解し、広い視野に立って謙虚な気持ちで他から学び、自分を高めていくことの大切さをまとめることができたか。</li> </ul>
<p>4 自己評価の欄を記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価をし、学習のまとめをする。</li> </ul>	<p>3</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5段階で自己評価し、理由を記入する。</li> </ul>